

定期報告

2011年5月29日(日)

天候:小雨 温度:15.5°C 湿度:62% 風:無風

放射線量:0.10 μ Sv/h:持参線量計 palmRAD Dosimeter Model 1621M (BNC)

食事 朝:パン、蜜柑の缶詰、牛乳
昼:モツ鍋、ご飯

氏名:坂本賢(薬剤師)

体調:良好

行動日誌

05:30:起床

07:00:朝食

08:40:朝のミーティング

09:00:午前診療開始。

10:30:村岡医師チーム、第8次派遣隊到着

11:30:診療終了

12:30:避難所管理者と三味線ライブ設営方法の確認

13:00:診察開始

14:30:三味線ライブ終了後、撤収の手伝い。

15:00:大槌高校出発

19:40:弘前へ到着

第8次派遣隊への引き継ぎ事項

OS-1 の在庫

一般用医薬品の今後の管理方法、医薬品の供給方法

県立大槌病院への確認

村岡医師寄贈の車いす

シーツの交換

今回で2度目の大槌高校だった。避難所状況に大きな変化はないが、被災者、避難所職員、学校職員の方に、顔を覚えてもらっていた事で、避難所内の問題点(救急箱、母子部屋など)についてよく話し合うことが出来た。

また、被災者、避難所管理者からの、様々な相談を受ける事も、以前より多かった。

何よりも、被災者、避難所のために少しく貢献できたのではないかと思える派遣だった。

氏名:長尾 勇志(薬剤師)

体調:良好

行動日誌

6:00 起床

7:00 朝食

8:40 朝のミーティング

9:00 午前の診療開始。

昨日、追加で入荷した一般用医薬品の整理を実施

10:30 村岡医師チーム、原田薬剤師、五戸薬剤師、葛西総務担当、三上総務担当到着

11:30 午前診療終了

12:00 昼食

13:00 イベントのための設営のお手伝い。

山上進氏の三味線ライブ鑑賞。心打たれる演奏でした

14:00 藤野医師チームお見送り。

14:30 撤収準備。愛知県保健師チームと同時に大槌高校を出発。

施設管理者に挨拶。

19:40 無事弘前到着。

① 一般用医薬品の設置について

今日の午前中までに使用された形跡はなかった。今後は、管理者の方にも手伝ってもらい、使用された分の補充、設置などを改善して行って欲しい。

いずれ医療チーム撤退後、必要性が出てくると思われる。その時の体制を後続のチームで築いて欲しい。

②管理スタッフの負担

施設の管理スタッフに見送っていただき、『助かりました』と言われたが、私には本当に力になれたとは思えなかった。

彼らは、朝早くから夜の消灯の時間近くまで働きつめている。

早起きする方、夜遅くに就寝する方などいろいろな方が避難して一緒の場所で暮らしている。

考え方も違うし、避難生活に慣れきってしまった方々を統括するのは非常に苦労が絶えないだろう。スタッフ自身も健康に注意しながら今後も頑張っていて欲しいと願うばかりである

③医療チームの撤退

他の避難所では他県からの医療チームの撤退が進んでいる。大槌病院仮設診療所も完成が間近な状況で当然の結果だと思われる。撤退が進まないと本来の保険診療の姿には戻っていかないのだろう。仮設診療所までの交通手段問題などは、避難している方々で互いに協力して助け合って欲しい。仮設住宅に移っても孤独等にならないよう行政にはお願いしたい。難題が多いと思うが、1日も早い復興を望む。

最後に、ある患者さんに、お世話になったから『一緒に写真を撮ろう』といわれた。自分としては薬剤師として当然のことをしていただけだったが、非常にうれしかった。撮影後、『短い間だったがありがとう。またおいでね』と御礼の言葉も頂いた。少しの時間だったが、心の支えに自分はなれていたのだろうか。この心を忘れずに日頃の業務を行っていきたいと思う。

氏名:藤田 雄太(総務)

体調:良好

行動日誌

- 6:00 起床
- 7:00 朝食
- 8:00 町田ミーティング
- 8:40 診療所ミーティング
- 9:00 午前診療開始
- 9:10 現場視察、写真撮影(海岸沿い) 黒滝総務へ同行
- 10:30 村岡先生チーム、原田薬剤師、五戸薬剤師、三上総務、葛西総務担当到着
- 10:45 昼食準備
- 12:00 昼食
- 13:30 イベント設営のお手伝い(山上進氏の三味線演奏)
- 14:40 藤野先生チームお見送り。撤収準備開始
- 15:10 高校管理スタッフ三浦さんに見送られながら大槌高校を出発
- 19:40 弘前到着
- 20:20 解散

約1週間大槌町に滞在したが、街は2ヶ月前と比べて復旧が進んでいた。しかし沿岸部はまだ瓦礫が散在しており、集積された瓦礫からは虫や強烈な臭いがしたりと、状況は良くなかった。

今回訪れた避難所大槌高校は、想像していた以上に被災地の方々が明るかった。前回もだが、支援活動に来た私たちが被災地の方々から元気をいただくことが多い。被災地の方々から聞いたお話は、常に考えさせられるものばかりだった。

氏名:黒滝 誠浩(総務)

体調:良好

行動日誌

- 6:00 起床
- 7:00 朝食
- 8:00 町田ミーティング
- 8:40 診療所ミーティング
- 9:00 午前診療開始
- 9:10 現場視察、写真撮影(海岸沿い) 藤田総務同行
- 10:30 村岡先生チーム、原田薬剤師、五戸薬剤師、三上総務、葛西総務担当到着
- 10:45 昼食準備
- 12:00 昼食
- 13:00 イベントの設営のお手伝い
- 14:00 藤野先生チームお見送り。撤収準備開始
- 14:30 高校管理スタッフに見送られながら大槌高校を出発
- 19:40 弘前到着
- 20:20 解散

最終日、家庭菜園等の希望者署名活動、詳細な情報収集ができ、今後の活動に役立てた
い。

初めて支援隊の活動をしてみて、自分の無力さと平和ボケさをまざまざと感じさせられた。足
手まといになりながらも支えてくれた『仲間』に感謝したい。